

令和7年3月24日

令和6（2024）年度 武蔵野市地域生活支援拠点等事業の事業報告

わくらす武蔵野

1、概 要

武蔵野市の地域生活支援拠点等事業は、令和5年度より市から（社福）武蔵野への業務が委託（拠点コーディネーター1名の配置）されて2年目を迎えました。拠点等事業は5つの機能（①相談 ②緊急時対応 ③体験 ④専門的人材確保と育成 ⑤地域の体制づくり）から成りますが、令和6年度は①相談機能についての取り組みを継続し、主に知的障害の分野（びーと）からハイリスクの状況にある当事者の抽出と登録を行ない、身体、精神、発達、高次脳機能障害等の事例の検討も行いました。また、②緊急時対応 ③体験 ④専門的人材確保と育成の機能についても現状把握と関係機関との情報共有など取り組みをスタートさせました。

次年度は、①相談における登録の拡充、②緊急時対応の仕組みの整理、③GH間の連携、④専門的人材育成の課題把握、⑤地域の体制づくりでは自立支援協議会との連携体制づくり等、各機能の推進と仕組みづくりについて具体的に取り組みます。

2、運 営

（1）拠点事務会議

武蔵野市における地域生活支援拠点等事業の企画準備、マニュアル等作成、事例検討、拠点会議の準備等の運営事務全般を担う役割として拠点事務会議を毎月実施しました。

〔参加者〕基幹相談支援センター、わくらす武蔵野、ミュー、コット、ほくと、びーと
相談支援機関から相談員等が参加。

〔実績〕4/11, 5/9, 6/13, 7/11, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 1/9, 2/13, 3/13 計11回

（2）拠点会議

武蔵野市の拠点等事業全般の運営や相談機能の「登録判定会議」等を担う会議として年度途中より開催しました。

〔参加者〕市、市内各地域活動支援センター代表者（ライフサポートMEW、コット、びーと）、ほくと、わくらす武蔵野

〔実績〕4/18, 5/16, 6/20, 7/18, 9/19, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16, 2/20, 3/21 計11回

3、事 業

（1）拠点相談機能の検討と実施

拠点等事業における相談は、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、緊急時の連絡体制を確保し、介護者の急病、死亡等により生じた緊急事態に必要なサービスのコーディネートや相談、その他必要な支援を行う機能です。今年度は精神障害、発達障害、身体障害などの相談支援事業所も加わり、相談機能についての流れや仕組みなど事例検討を含めて協議しました。登録については、びーとから2名、ほくとから1名、計3名の登録を新たにおこない前年度含めて計9名の登録となりました。（資料①）

（2）体験機能

地域での暮らしを体験、確保する上でグループホームの機能と役割が求められています。まずは武蔵野市内にあるグループホームの実態把握を行うために、市内にあるグループホームへの個別の訪問や電話による聞き取り調査を行ないました。（資料②）

(3) 専門的人材確保と育成

地域における専門的人材確保や育成について、武蔵野市地域包括ケア人材育成センターを訪問して意見交換を行いました。現在、当センターでは拠点等事業の関連で言うと喀痰吸引の研修を実施していますが、こうした面も含めて今後情報共有と連携を実施していくことを確認しました。

4、その他

拠点コーディネーターが地域自立支援協議会・相談支援部会に委員として参加し10月29日、第4回会議において、拠点コーディネーターの立場から拠点等事業の説明と事例報告を行いました。

<添付資料>

- ・資料① 相談（ハイリスク）登録の要因と課題について
- ・資料② 市内グループホームの概況調査 まとめ